

春待つ心

「冬来たりなば春遠からじ」。冬の次には必ず春が巡って来る。自然の運航には寸分の狂いもない。冬、極まって春を呼ぶ。これは天命である。逆境に落ちた時、そこから抜け出ようと焦る。しかし、これは先決ではない。どんな場合も、自らの心を倒してはならない。運命はふさがっても、心までふさいではない。どこまでも、春待つ心を失わない。これは運命打開の第一歩である。

～ 文筆家・政治家 常岡 一郎 先生 の 言葉より ～

桜の蕾も膨らみ始め春の足音が遠くから聞こえて来る季節になりました。校庭に注ぐ日差しにも春のぬくもりが少しずつ感じられ、体育館近くにある白梅の木が花を咲かせています。児童達は、学年末の最中、今、学習面と生活面のまとめに一生懸命励んでいます。梅の花が凛と咲き、心地よい香りを周囲に漂わせてくれるように、児童達も、私たち大人も、4月、新年度に良いスタートを切ることができるように、「今、ここ」を、真摯に、忍耐強く、過ごしていきたいものです。



全校朝会での校長講話、紹介

昨日、14日の水曜日に2月の全校朝会を行いました。その中で、児童達に1年間の締めくくりとして最後まで励んで欲しいと思うことを、おいしい料理の『さしすせそ』をもじり、素敵な学校の「さしすせそ」として伝えました。『さ』＝爽やかな挨拶 『し』＝静かな廊下 『す』＝素早い集合 『せ』＝せっせと掃除 『ぞ』＝そろった靴箱 ※折に触れ、児童達を誉めていきたいと思います。

来年度（2024年度）の1年生と2年生の時間割（時程）の変更について

今、学校では、職員会議で、年度末の反省を行っています。その中で、来年度（2024年度）の1年生と2年生の時間割（時程）を、変更することが決まりましたので、時期尚早ですが、前もってお伝えしておきます。（来年度より）

	月	火	水	木	金
1年	5	5	5	5	5
2年	5	5	5	6	5

※ クラブ・委員会のある、
水曜日は、4時間授業です。

※ 来年度のことでありますが保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

あたりまえ

千葉県在住 中2生徒 作

水面には いつも

少し崩れた 世界がある

鏡にも いつも

自分とはちがう 自分がいる

いつも お手本のようにいなくて

いつも どこかで間違えて

でも それが当たり前

◆「感想」 お手本はあくまでお手本。縛

られない方が良いでしょう。窮屈さと緊張を

時に開放し、自分の好き

なことに没頭する時間を

作ることも、あたりまえ

の様に大切です。

